

環境に配慮した取組

(1) 消化ガス発電

ア 目的

松尾浄化管理センターでは、汚泥処理の過程で発生する消化ガスを燃料として発電を行っています。発電された電力は全量を浄化センター内で利用するとともに、発電機から発生する熱を消化槽の加温に利用することにより、下水処理過程で発生する資源を有効活用しています。また、電力使用量削減により二酸化炭素の削減にも貢献しています。

イ 経過

平成21年4月～平成22年7月

消化ガス発電設備（25kW×1台）を設置し、民間会社と共同研究（実証実験）。

平成23年度 消化ガス発電設備（25kW×2台）を増設。

平成28年度 平成29年3月末で2号焼却炉の廃止に伴い、消化ガスが余剰になるため消化ガス発電設備（25kW×4台）を増設。

ウ 効果（令和6年度）

年度	設置場所	発電能力 (kW)	総電力使用量 (kWh)	発電電力量 (kWh)	場内利用率 (%)	CO ₂ 削減量 (t)
令和5年度	松尾浄化管理センター	175	3,973,170	1,470,190	37.0	675
令和6年度			4,048,220	1,471,436	36.3	619



(2) 太陽光発電

ア 目的

下水処理場管理棟屋根に太陽光発電パネルを設置し、発電電力を処理場内で使用することにより、電気使用量の削減を図るとともに、自然エネルギー由来の電力使用によるCO₂の削減にも貢献しています。

イ 効果（令和6年度）

設置場所	発電容量 (kW)	総電力使用量 (kWh)	発電電力量 (kWh)	場内利用率 (%)	CO ₂ 削減量 (t)
竜丘浄化センター	10	248,764	9,758	3.9	4.1
川路浄化センター	10	190,023	11,036	5.8	4.6
更生太田処理場	10	232,821	4,277	1.8	1.8